

次代の子どもたちに地域の環境つなぐ

ブロードリーフ

ブロードリーフは、2008年から企業参画型環境保全活動「Grow Leaf（グロリーフ）プロジェクト」を行っている。

このプロジェクトは、子どもたちやその先の世代の子どもたちに豊かな地域環境をつなぎ、多様性のある持続可能な循環型社会の実現を目的として設立した。リソース不

足でSDGsへの継続的な関与が困難という課題に向け、「1社では成しえない活動を趣旨に賛同するお取引先様と共に推進する」という企業参画型として設計。「パートナーシップ」と「次世代教育」を核に置き独自の貢献活動を17年間展開してきた。

植樹活動は、認定NPO法人と連携し全国14の



地域で推進。23年から3年連続で植樹イベントを実施している。24年には山梨県に企業の森「ブロードリーフの森」を設立。累計植樹本数は2181本に達した。25年には、東京都品川区「令和6年度環境保全活動

独自の貢献活動を17年間展開



顕彰」で最高賞「企業大賞」を受賞した。

25年12月時点で125社が参画している。同プロジェクトを通してクルマ社会における事業貢献と地域経済への活性化に貢献していく。

【受賞者コメント】この度は環境貢献賞を賜り、誠に光栄に存じます。創業20周年の節目に、18年にわたり継続してまいりました企業参画型環境保全活動「Grow Leafプロジェクト」を評価いただいたことは、弊社にとってこの上ない喜びです。長年志を共にし、本活動を支えてくださる会員企業の皆様に心より感謝申し上げます。今後も持続可能な循環型社会の実現と、豊かなクルマ社会の両立に向けて邁進してまいります。